

第3回 日中戦争史研究会議事録

出席者：

菊池一隆(愛知学院大学) 丸田孝志(広島大学) 馬場毅(愛知大学) 高明潔(愛知大学) 三好章(愛知大学) 森久男(愛知大学) 大野太幹(愛知大学非常勤講師) 岡崎清宜(非常勤講師) 暁敏(愛知大学非常勤講師) 佐藤敦信(愛知大学 ICCS 研究員) 平野孝治(愛知大学 ICCS 研究員) 水野光朗(愛知大学国際問題研究所研究員) 高木敏彦(一般) 早川光(愛知学院大学大学院) 張鴻鵬(名城大学大学院) 楊韜(名古屋大学大学院) 野口武(愛知大学大学院) 千賀新三郎(一般) 大野絢也(愛知学院大学大学院) 安井裕(社会人) 鈴木貴子(愛知学院大学大学院) 久後智紀(愛知学院大学大学院) 和田太(愛知学院大学大学院)

以上23名(順不同、敬称略)。

1、暁敏報告「ノモンハン事件の前段階におけるフルンボイルの政治情勢について」(司会：馬場毅)

[報告内容]

ノモンハン事件の前段階におけるフルンボイルの政治情勢について、なぜソ蒙に協力したのか、謀報活動を可能にした要因、更にはフルンボイル地域の内部情勢の実態解明という三つの問題を設定し、近代フルンボイルの歴史を整理し、教育史の視点と該当地域の背景について考察を行った。フルンボイルの近代史については、1912年の第一次独立運動から1939年のノモンハン事件までの歴史を整理し、教育史の視点では、フルンボイル地域の内外モンゴルの教育制度と日本への留学等について検証を加えた。最後に、ソ連の影響下にあるモンゴル人民共和国と日本の影響下にあるフルンボイルの内外要因の比較から分析を行った。→詳細は添付レジュメ参照

Q 森：今日の指摘で面白いと思った点は、ダフル族社会の中では教育が早くから普及しており、彼らが軍や政府の中でポストを得ることができたという点で、内モンゴルと比較すると対照的であった。内モンゴル草原では王公が権力を独占していて、都会で教育を受けたモンゴル知識青年は、草原に戻っても就職口がない。そのため、モンゴル知識青年の不満が蓄積して、1930年代にモンゴル自治運動が高揚する原因になっている。教育史という視点を踏まえると、フルンボイルと内モンゴルとの違いがよく見えてくる。笹目恒雄の話が出てきたが、彼はメルセ(郭道甫)と仲が良く、留学生を受け入れている。笹目は数種類の回想録を書き残しているが、一番重要なところがぼんやりしていて、不明な点が多くある。1943年に貴司山治というプロレタリア文学作家が蒙疆地域を旅行し、西ウジュムチン草原で笹目から直接回想を聴取して、『蒙古日記』に詳しく書き残している。

A：笹目恒雄の回想録は使い難い部分がある。

Q 森：笹目が戦後に公開した回想録で信用できるのは『日本とモンゴル』に寄稿した短い文章のみで、これはかなり正確なものである。貴司山治の『蒙古日記』は未公刊だが、来年一月に不二出版から小生の解説を付して刊行予定である。同日記には、蒙古連合自治

政府管内で出会った各階層・各民族の色々な人物との会見記録が残されていて、とても興味深いものがある。

Q 大野(太)：清朝の時代から特別な地位にあったわけで、彼らは近代まで二百何十年経っているが、その時に近代のモンゴル主義とか内外モンゴルの統一というように、モンゴル人とダフル人の意識は同じだったのか。

A ___：同じです。

Q 大野(太)：フルンボイルだけダフル人で独立するとか。

A ___：モンゴルと一体というのが基本です。モンゴルとは大きな概念であるので、ブリヤートとかオイラトとかいろんな部族が入って大きなモンゴルなので、大きなモンゴルの中で自分たちの何かを考える。そういう発想もあったかもしれないが、基本は内外のモンゴルと一体感を保つ。それが基本である。

Q 大野(太)：フルンボイルの白系ロシア軍とか、軍政をやっているが、その中でダフル人は何か影響があったのか。

A ___：1918年あたりにブリヤートモンゴル人による大モンゴル主義運動が起こる時にも参加し、1928年から満州国成立までの段階ではパルチザンとも連絡を取り合った。自分たちではできないことを色んな周辺勢力を使って最終的な目的を実現する。それが非常に複雑である。1912年から反漢が中心であったが、32年の段階で凌陞が興安北省長に就任するが、それにもかかわらず抗日を打ち出す蘇炳文が出てきた。その時に凌陞は武器弾薬を提供している。そういう関係を見てみるととても複雑である。

Q 大野(太)：郭道甫や福明泰がフルンボイル青年党事件でソ連や外モンゴルの援助を受けたが、郭道甫は共産主義に共鳴したのか。

A ___：そうではないと思う。彼は、最初はコミンテルンとか、モンゴル人民革命党の影響を受けるが、外モンゴルの人民革命党のリーダーだが、最終的には漢民族と仲良くやっついこうと方向転換する。その中で彼は結局親漢という評価が出てくるかと思うが、私はそうは思わない。最終目的はやはり内外モンゴルの統一ではないかと思う。

Q 三好：モンゴル民族とは何なのか、ホンタイジのことを大ハーンと認めることによって大モンゴルができた。対等な関係ということ強調してもいいと思う。対等だからこそ沢山の妃が清朝にやってくる。その逆もあり得る。モンゴル地域というと蒙古八旗だが、フルンボイル地域はなぜ満州八旗なのか。

A ___：もともと黒竜江省軍の管轄にあって、内外モンゴルに分ける時にロシアにいちばん近いところにあり、そういう関係でフルンボイル八旗を別に組織した。

Q 三好：モンゴルの世界では北モンゴルに南モンゴルというのが現在では正しいのであって、独立運動の根底にあるのも大ハーンの作ってきた国がなくなったので、それに忠誠する必要がなく、漢族皇帝の国から独立するのは当たり前だが、漢族には理解できないので独立を潰しにかかった。1905年に瑗瑋や墨爾根に初級小学校が置かれたが、これは清朝の改革であるが、そのリアクションはどうだったのか。

A ___：難しい問題である。当時のダフル人のそれに関する文章は見当たらない。

Q 三好：以前長春の档案館で延辺に特学を置いて教科書をどうやって運ぶのかという政府

の資料はある。延辺の档案馆の開きは悪いが、そういったものがわかれば面白いと思う。

Q 岡崎：八旗学童とはどういう勉強をするのか。

A：読み書き、満州文字とか、後に漢字である。1800年代までは、モンゴル人が直接漢字を学ぶにはいくつかの制限があった。

Q 丸田：フルンボイルの民族運動は徳王政権とどのような関係があったのか。近代のモンゴル民族主義が様々な系統のリーダーを生み出したと思うが、これらと民族運動はどのような相互関係があるのか。

A：郭道甫と福明泰が1924年あたりに内モンゴル国民革命党の結成に参加し、国共合作期なので、国民党に属する白雲梯もメンバーに入っている。そのあとに蒋介石のクーデターによってまた分かれていくが、対立が発生しフルンボイルに戻っていく。郭道甫はダフルだけではなく内モンゴル全体の民族運動史に影響をもたらした。フルンボイルでの民族運動の挫折によって、徳王のもとに行った人もいる。

Q 高：モンゴルの概念、単にモンゴル族だけの概念ではない。我々にとってダフル族がモンゴル人とイコールであるかという議論は必要ないと思うが、モンゴルという概念はとても広い。1947年に設立された内モンゴル自治区の綱領では、自治政府の範囲はまず中華民族の範囲内において民主的な政権を建設するというものである。内モンゴルのフルンボイルで内外モンゴルの将来について研究してものもいる。我々の出身ともかかわってくるデリケートな問題である。

2、菊池一隆報告「戦時期北米華僑の抗日運動」(司会：馬場毅)

[報告内容]

アジア・太平洋戦争期における地球規模の華僑の動態と構造を解明するための一環として、アメリカ華僑の実態についてニューヨークおよびサンフランシスコ等の華僑分布地域を事例に分析を行った。抗日献金活動の仕組みや問題点、中国国民党に対するアメリカ華僑の姿勢、更にはアメリカ社会における華僑の地位等の社会的な背景にも分析および検証を行った。結果、サンフランシスコでは国民党と各党各派の団結がスムーズに行われているが、ニューヨークでは致公堂が大きな力を有していたので、国民党の影響力は低かった。また、抗日献金については、主に中国銀行を中心とするパイプに集約されたが、それを巡る問題点がニューヨークで噴出した。中国銀行による独占を解消し、中央銀行等他の銀行も参画する国家四大銀行案が浮上することとなった。→詳細は添付レジュメ参照

Q 三好：華僑と華人は区別しないと言っていたが、今回の資料はほとんどが華字紙だが英字紙はどうか、英字紙では華僑と華人の区別は厳密である。オーバーステイチャイニーズとアメリカンチャイニーズの違いをはっきりと区別しないと問題が整理できないと思う。在米華人の活動がアメリカにどのような影響があったのか具体的に記されていない。論文ではアメリカ人と書かれているが、華人の可能性もあるのではなか。

A：それはない。史料にアメリカ欧(州)人と書かれており、これは中国系が包括され

ることではない。華僑と華人を明確にできるのは、戦後、現在の話である。

Q 三好：カラーホワイトとの区別も必要である。また、中国共産党とコミンテルンとの距離はどうだったのか。更に論文では懲罰や追放と書かれているが、コミュニティーに入っていなければ華人は生活できなかったのか。コミュニティーの中でしか生活できなかったのならアメリカへの影響力は低いと考えられるが、コミュニティーの外との関係は。

A：ある団体を追い出されたら別の団体へ行けばいい。この場合は統一的になってきているので、コミュニティーを追い出されるということは自己保存ができなくなるということである。時期によっても異なってくるが、この点については厳密に調べる必要がある。また、今までのアメリカ華僑研究では献金が自発的意思と書かれていたが、懲罰というものも存在することが明らかになった。

Q 三好：ニューヨークのデモ行進の道程はどうだったのか。どのような人にビラを撒こうとしたのか。それが分かれば更に論文がよくなると思う。アメリカ政治にどのような影響があったのかという点が弱い。

Q 高：中国の公民権意識では、どういう人が中国人の公民というのか。海外で永住権を持っている人も中国の公民であるという。太平洋戦争中の華人と華僑を区別する基準は何か。アメリカ国際法から華人というものがでてきたのではないか。

A：公民権の定義に関する多くの研究があり、私は東南アジアについての研究は終わったが、アメリカについてはまだ研究していない。この研究は主流であるが、私はあえてこれを外して、どのようにアメリカ華僑の断面を切れるかに焦点を置いている。また、戦時期、東南アジアでは華人は中国系全体を包括する意味であった。1980年での中華人民共和国国籍法の改正で、中国籍が華僑、海外籍が華人と定義した。この定義を、戦時期に遡らせることはできず、誤った結論を導きだすことになる。当時の華僑と華人の差はそれほどなく、区分は困難である。

Q 高：少数民族の場合はどうなるのか。

A：モンゴル人の場合は蒙僑となる。モンゴル人が海外行った場合は華僑ではない。現地主義と血族主義の問題である。1984年の華人と華僑を分けるのは中華人民共和国国籍法であって、国民政府のではない。戦時中では1939年には既に主なものができていた。

Q 水野：インドの民族独立運動史の中でのシンガポールにおけるインド人について、印僑とインド人を分けられないのが普通である。アメリカでの北米華僑の抗日運動と中国の抗日運動の関係はあったのか。

A：1940年までは東南アジアと結びつきはある程度関連が見受けられる。1937、8年まではかなり結びついている。1940、41年では完全に切れる。中国内部とはかなり結びついている。私が結び付けたいのはアメリカ南北大陸の致公堂との関係の動きとイギリス・フランス・ドイツとの華僑の結びつきである。

Q 馬場：致公堂は天地会と同じ機能を持っている。その機能は異姓結拜して、兄弟の危機の時はお互い助けあうというものである。反社会的活動にも手を出している。18世紀後半に台湾で天地会の名称が初めて使用されたが、その時の組織と同じであり、天地会と致公堂は同じ機能を持っている。また、旅美華僑諸統一義捐救国総会に結集した組織について

報告では政治的主張を持っているものについて重視するということであったが、同郷団体、血縁団体も参加して初めて華僑を網羅する統一戦線組織として、アメリカの華僑をまとめられたのではないか。なお孫江さんの研究によると、辛亥革命後致公堂が孫文にアメリカから代表を送り、自分たちを国内の公認の組織として認めるようにせまったが、公認しなかった。すると致公堂が怒って革命前の献金を返せと言ったという。司徒美堂は杜月笙に似ており、従来の組織の近代化を進めており、1930年代における政治的な発言は的を得ている。杜月笙は国民党と一緒にいるから政治的な発言はしないが、彼自身はいろんな企業に投資する大資本家である。国民政府と結びついて官職を得ている。これは従来の幫の行為とは異なる。このような幫の近代化を司徒美堂もやっているという気がした。また「堂」と出てくるが、天地会や哥老会の山堂というのは、「堂」と称しているのがそれぞれ個別の洪門系の組織であって、その中で致公堂はずば抜けている。「和平会(堂閩の調停機関)」とあるが、これは洪門系組織が争いあった時の調停機関であった。質問として繰り返すが旅美華僑諸統一義捐救国総会は、個別の政治組織だけではなく、地縁血縁組織も合わせて初めて大同団結ができたのではないか。

A ___ : 同郷団体について、同郷団体に入りながら致公堂にも入る。致公堂と同郷団体は重複している。私が今考えているのは、洪門天地会系が一方では三合会になり、一方では哥老会になる。東南アジア三合会と三星党になり、アメリカに行くと致公堂になる。それらが致公堂の形でイギリスとフランスに入っていく。私は致公堂で世界地図が描けると思う。

Q 馬場 : 天地会・三合会と哥老会はもともとは別である。天地会が先である。天地会は18世紀の後半で、哥老会は19世紀半ばに成立している。組織内では両方とも成員が洪姓を名乗る。あきらかに哥老会は天地会をまねている。だから20世紀で両方とも洪幫になる。ただし全世界に出た時に致公堂と名乗ってそれがあちこちにあれば、致公堂で追ったほうがよい。海外に出たのは哥老会系より天地会系だと思う。

Q 大野(絢) : ピケとは何か

A ___ : スト破りなどを警戒して、バリケードや人によって警備する。何人かの人が警戒して見張りに立ったりする。

Q 楊 : ニューヨークとサンフランシスコの抗日研究問題について、ニューヨークでトラブルがあったと言ったが、ニューヨークの銀行は中国銀行なのに対して、なぜサンフランシスコは広東銀行なのか。

A 岡崎 : 広東銀行はサンフランシスコやシドニーとか華僑系の銀行で、ニューヨークにはない。中国銀行は横浜・大阪・ロンドン・ニューヨークなど当時の世界的な金融センターにおいて外国為替を管理している。広東銀行は広東華僑がサンフランシスコや香港、上海で展開していた。

(文責 平野孝治)